

FCAとSAによる炎症刺激後の牛アミロイド投与によるウサギのアミロイドーシス誘発実験

研究分担者: 帯広畜産大学基礎獣医学研究部門 松井高峯

表: 各群の実験経過および結果

炎症刺激	群	足の状態	動物数	死亡数	アミロイドの沈着 (沈着例/生存数)
FCA + LPS	A	SH	39	5	11/34 (32%)
	B	足底潰瘍作成	23	6	0/17
	C	Non SH	12	0	0/12
SA + LPS	D	SH	10	4	5/6 (83%)
	E	足底潰瘍作成	14	7	3/7 (43%)
	F	Non SH	7	0	0/7

解説

- SH(A,D群)は自然発症飛節潰瘍ウサギ、足底潰瘍作製(B,E群)は足底部除毛により人為的に潰瘍病変を作製したもの、Non SH(C,F群)は健康対照群。
- 炎症刺激:FCAはFreunt's complete adjuvant、SAは飛節潰瘍部より分離した黄色ブドウ球菌加熱死菌。
各群炎症刺激後、牛アミロイドを投与。
- 人為的潰瘍形成群(B,E群)では黄色ブドウ球菌(加熱死菌)による炎症刺激群のみにアミロイドーシスが誘発された。